

8時30分まで、いわゆるハッチャキ体操も含めて全国版で、ここから開港のもとになったペリー提督が来た時の話を中心に全国にお伝えしますし、北海道内の切り換えの部分もすべて函館で行います。会員の皆様にはぜひご覧きたいと思います。会長には特に一口おのり頂くことになっています。函館でいわゆる一番ねらっていることは函館地元密着という形と函館の魅力というものを絵葉書的にしかご紹介していなかったのですが、函館の持っているすばらしい面をいろんな形でお見せできたかと思っていますのでひとつよろしく願いいたします。宣伝めいた話になってしまいましたが、これは資金面でも1/4しか地元函館にお願いしておらず、うちの会社の持出し番組ですのであしからずよろしく願いいたします。

◎クラブアッセンブリー 司会：中野 亮 会長

出席会員全員に対し意見を聞いたが、クラブとしての集約せず、今度のクラブ運営に対し参考にしていくことである。色々の意見がでたが、クラブの会員数については会員相互の顔の見える範囲が望ましいことから、70~75名程度で良いという意見が多かった。無理やり増強することによる質の低下等の問題提起やクラブの発展のためには増強していかないと現状維持も無理であり、会員増強は絶対に必要であるとの意見もあった。女性の会員については、入りたい人がいれば拒まないが無理やり会員増強のためにやるのは問題という意見が多かった。男子だけで行くべきだという意見や反対に積極的に入れるべきだという意見もあった。

◎出席報告

会員数	71名	出席率	函館北	10月11日	86.76%
出席	38名		函館東	10月10日	祝日休会
欠席	33名		函館	10月5日	84.68%
他クラブ出席	21名		函館五稜郭	10月6日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田	10月9日	91.16%
除外者	3名				

次回・11月8日
プログラム

会員卓話
齊藤英夫 会員



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G. ブラウン 国際ロータリー会長テーマ
真心の行動 Act with Integrity
慈愛の奉仕 Serve with Love
平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



11月1日卓話 柴 勤氏

《第1560回例会》 第18号 11月8日(水)

本日のプログラム

会員卓話
齊藤英夫 会員

★会長 中野 亮 ★幹事 遠藤尚孝

11月1日の記録

- ◎司 会 中野 亮 会長 ◎斉 唱 君が代、それでこそロータリー
 ◎ビジター 栗沢R.C. 小山利雄君、七飯R.C. 葛西春夫君、函館R.C. 川端久
 雄君・地主 昇君、函館亀田R.C. 田中 仁君・帰山一弥君、
 函館東R.C. 赤城 泰君・渡辺友子君、函館五稜郭R.C. 西村憲
 人君・田村政志君・岩田勝三君・輪島輝一君
 ◎ゲスト 道立函館美術館 学芸部長 柴 勤 君

- ★誕生祝 吉田会員(4日)、市川会員(8日)、小笠原会員(14日)、飯田会員・
 山本会員(24日)、濱 会員(30日)
 ★結婚祝 椎谷会員(3日)、石上会員(5日)、新 会員(17日)、加藤(補)会
 員(23日)

◎会長報告 中野 亮 会長

- 1997～1998年度R I 会長にオーストラリアのグレン・W・キンロス氏が
 指名されました。
 ○ロータリーワールド第2号が届きましたので回覧致します。
 ○先般ヴィジターで見えられた、東京自由が丘R.C. と大阪御堂筋R.C. から
 のバナーが送られて参りましたので回覧致します。

◎濱 武 前会長報告

先月27日、函館地区にクラブを増やそうということで会合があり出席し
 てまいりました。その結果、簡単に申し上げますが、五稜郭クラブの松浦
 前会長が地区の拡大委員をやっておられますが、松浦前会長の話しでは先月
 地区で委員会がありいろいろ話し合った結果が上磯にクラブをつくるとい
 う話しでしたが、上磯はすでにライオンズクラブがあり、そう簡単にか
 ないのではという事で、大野地区を含めて地方公共団体の協力を得て、も
 う少し検討を要するのではという事でありました。いずれにしても、今月
 の下旬に報告があろうかと思えます。

◎幹事報告 遠藤 尚孝 幹事

- 友好クラブ(台北・東北R.C.) から会報が送られて参りました。回覧致
 します。

- 北ロータリークラブの定款と細則案が送られておりますが、よく読んで
 来週に備えていただきたいと思います。
 ○本日例会終了後、理事会を開催致します。

◎親睦活動委員会 南木 哲雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 森(秀) 会員……なにかいい事がありますように。
 南木 会員……BOXに協力。
 伊藤(剛) 会員……月始めです。
 中野 会長…… ”
 大和 会員…… ”
 吉野 会員…… ”
 遠藤 幹事……今月も良い月でありますように。
 加藤(補) 会員……結婚月です。
 森(剛) 会員……月始めです。
 藤野 会員…… ”
 中里 会員…… ”
 小林 会員……当社(S T V)では今週金曜日、あさって11月3日から函

館市内で毎日テレビ番組の生放送を致します。

11/3(金)午後3時50分から7時まで「どさんこワイド212」
 シーポートプラザとロープウェイを結んで放送。

11/4(土)シーポートプラザで「どさんこワイド増刊号」午
 後3時から1時間生放送。パネラーとして木戸浦市長、
 ポール牧、奥山コーシン他。そして午後5時からパーソ
 ナリティとファンの集い。

11/5(日)魚市場から「北再発見95」生放送

11/6(月)朝6生ワイド全部とズームイン朝を西波止場から
 午前5時45分から8時30分まで。

- 薮下 会員……月始めです。
 山本 会員……誕生月です。
 大村 会員……月始めです。
 金子 会員…… ”
 小笠原会員…… ”
 松見 会員…… ”
 青田 会員…… ”

山崎(笑)会員……ホームクラブ出席し久し振りです。本日2時15分からFMいるかで借家契約の期間についてお話ししますので、関心のある方はぜひ聞いて下さい。

◎卓話 「大観の光」 道立函館美術館 学芸部長 柴 勤 氏

美術館の柴です。今日はこのようなすばらしい席にお招きいただきましてありがとうございます。今日は大観のお話しをということで小林局長にいわれたのですが、実は私はフランス美術が専門であります。

大観の作品における光は大変重要なことであります。光といいますと印象派ではないかと思えます。印象派が初めて光を真正面からモチーフとし主題とした作家達であったのです。印象派といいますとモネ、ルノアールとかたくさんありますが、彼らが光をモチーフにした作品を描いていた頃は1960年～1970年以降となりますが、当時の美術状況を見ますと、風景を描くのはどんなことかといいますと写實的に描くという事である。もちろん平面的なキャンパスに奥行のある現実の風景を描くというのは当然無理なんです、その為ルネサンス以来遠近法とか明暗法とかいろいろな方法で工夫しまして、見る人に錯覚を起こさせようとした作品を描いてきた長い歴史がそこにありました。モネを初めとする作家達はそういう風景の描き方にもたたりなかった。彼らも風景画の流れの歴史でいえば写實的な流れである。目に見える通り描くという、これはそれまでの流れと変わらなれど、目に見えるということはどういうことなのかとあらためて問いはじめたわけです。つまり固有の色、つまり物には固有色が備わっているんだという事が風景画を描く時の大前提であり、約束事であったわけなんです。そして構図もきまってるし、描き方もきまってる。遠近法を使わなくちゃいけない、がんじがらめの約束事の中で描いていたわけなんです。ところがモネを初めとする印象派の画家達はそうではないんだ、空気があり光が物との間に介在しているので、そのものを通すと色々な見方ができるのだということに注目したわけなんです。一つ例を出しますと、クロード・モネという印象派の代表的作家ですが、たとえば「積糞」という作品がありますが、この作品には有名なエピソードがあります。彼は積糞を描き始めました。ところが描いているうちに色が変わってきってしまったのです。そこで大急ぎでキャンパスを持ってこさせて又変わった色の積糞を描きました。そういったことで一つの作品のためにたくさんの絵を描くことになりました。つまりその積糞が時間の経過と共に、要するに光の変化と共に色々なふうに表情を変えて目の前に現れたわけです。一

番大事なのは、光しだいで物というのはいろんな見え方をするんだ、そして物は光によって包みこまれている一つの物体にすぎないということになったわけです。

さてこの印象派なんです、第1回展が開かれたのが1874年より1886年まで12回開かれております。1874年といいますと、日本では明治の初めの頃です。横山大観が誕生したのが1868年明治元年です。横山大観はヨーロッパの印象派の美術の流れと共に自分の画境を展開してきたという事ができます。日本の当時の美術の状況を見ますと、幕末・明治にかけてヨーロッパの美術がたくさん入ってきています。古典的なアカデミックな美術もどんどん紹介されましたが、それと同時に印象派もどんどん紹介されました。黒田清輝などは実際に現場へ行って日本に持ち帰っております。作品に光を取り入れた新しい作品を日本に紹介したわけです。日本の美術の流れを見ますと、洋画(油絵)が圧倒的に日本画に対して優位を示していたわけです。当時まだ日本画という言葉はなかった。日本画は洋画に対抗してできたのです。日本の伝統的な絵は劣勢である。なんとかしてその伝統的な絵を団結して守ろうということで日本画というものが新しくできたのです。そういった日本画の先頭に立ったのが岡倉天心であったわけです。岡倉天心等に共鳴したのが横山大観だったのです。彼も一生懸命がんばりました。ただこれまでの伝統的美術の描き方だけに頼っていただけではいけない、洋画の中でもいいものはどんどん日本画に取り入れていいんじゃないか、その上に従来ある日本画の伝統ある美術をミックスさせて、それで洋画に負けない日本画を築きあげようかとしたわけです。ここに横山大観と印象派が結びつくわけなんです。横山大観の一つの大きな特色として、いわゆる印象派的な光を取り入れた作品がございます。輪郭性もちいらないでぼんやりとした感じで遠近感を出してゆく、ものの存在感というものを浮かびあげてゆく、そういった描き方をしていたわけです。

日本画の特色の一つは余白の美である。伝統的日本画を見ますと、例えば山水画を見ますと画面のすみずみまで全て描きつくしているわけではありません。まん中にちょこちょこ山を描いている。今回の横山大観の作品にもたくさんあります。これは日本画の独特なものです。もう一つの特色は、日本画は線の美学であります。一つの墨を付けた線でいろんな表現が出来ます。線の太い、細いもあります。濃淡もあります。それとリズムということもあります。ゆっくりと描く時もありますし、サーと描く時もあります。とにかくいろいろなものが一色で表現できるとゆうことはすばらしいことであります。ヨーロッパの美術にも少なからず影響を与えてお

りますが、この線ということが大変重要なことなのです。しかし横山大観達はこの線を消してしまったのです。これは当時印象派と同じく非難されてもむべなるかな、という感じが致しますが、それでも彼は新しい絵画にかける情熱は、そういった批判をものともしなかったというところちょっと語弊があるが、途中ちょっと折れるのですが、一時期今見ても非常に新鮮な現代的なモダンなもうろう派と呼ばれた作品を描いていったわけなのです。もう皆さんご覧になったかたがたくさんいらっしゃると思いますが、これからご覧になる方、会場へ行きまして横山大観の作品を見ましたら、ああここには日本だけじゃなくて世界を含んだヨーロッパの動向まで含んだそういった大きなものがあるんだなあ、ということの思い浮かべると横山大観の偉大さがさらにおわかりになると思います。是非そういった視点でご覧いただきたいと思います。以上話しが雑駁になりまして申し訳ありませんが、美術における光ということで一つお話しさせていただきました。どうも有難うございます。失礼致します。

◎ 出席報告

会 員 数	71名	出 席 率	函 館 北	10月18日	88.41%
出 席	40名		函 館 東	10月17日	91.67%
欠 席	31名		函 館	10月12日	92.24%
他クラブ出席	21名		函館五稜郭	10月13日	100.00%
出席合計	61名		函館亀田	10月16日	92.16%
除 外 者	2名				

次回・11月15日 プログラム	卓 話
--------------------	-----



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity
 慈愛の奉仕 Serve with Love
 平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



11月8日会員卓話 斉藤 英夫 会員

《第1561回例会》 第19号 11月15日(水)

本日のプログラム

「中国との交流」
 函館R.C. 会員 石田 勉氏

★会 長 中野 亮 ★幹 事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチ口ビル3階 23-3870